授業科目名							開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験		
老年看護学実習							3年次	前期	2	80	有		
科	目	責	任	者	長尾	長尾貴子							
目				的	間理解	高齢者を生活者として捉え、人間の成長発達を高齢者の心身機能と生活状況から広く理解し、人間理解と高齢者サポートの意味やその方法の概要を理解する。また、認知症に対する知識を深め、実際を通して、支援する方法を考える。							
目				標	 高齢者を生活者として捉え、身体的健康、生活の自立度、心理・社会的健康、環境、生活史の側面から理解できる。 高齢者の健康と生活に関する問題について、総合的に理解する。 認知症の病態を理解し、対応する態度がとれる。 高齢者の思いや希望を中心に置いた支援計画を立案できる。 高齢者の生活史・価値観を考え、尊重した態度がとれる。 高齢者の特徴を踏まえたレクリエーションを立案・実施できる。 高齢者との関わりの場面をプロセスレコードに記載し、自己の振り返りができる。 高齢者に関わるほかの保健医療福祉チームを知り、看護の役割と機能を理解する。 								
					口				内容				
					1	施設才!	リエンテーション						
					2	見学実習	習・コミュニケー?	ション・受け持ち	患者の情報収集、	アセスメント			
					3	見学実習	習・コミュニケー?	ション・受け持ち	患者の情報収集、	アセスメント			
	内容				4	通所リク	ヽビリテーションタ	見学・受け持ち患	者の看護計画立	案			
				5	見学実習	習・コミュニケー?	/ョン・中間カン	ファレンス					
					6	6 認知症病棟見学実習・コミュニケーション・プロセスレコード							
					7 認知症病棟見学実習・コミュニケーション								
					8	サービス	ス担当者会議見学・	・コミュニケーシ	ョン				
					9	コミュニ	ニケーション・レク	ウリエーション					
					10	コミュニ	ニケーション・最終	冬 カンファレンス					
履	偱	多 :	条	件	1・2年次の単位すべてを修得のこと。								
評	評価方法・基準 実習要綱に定める。												